


## ●最近の県内経済

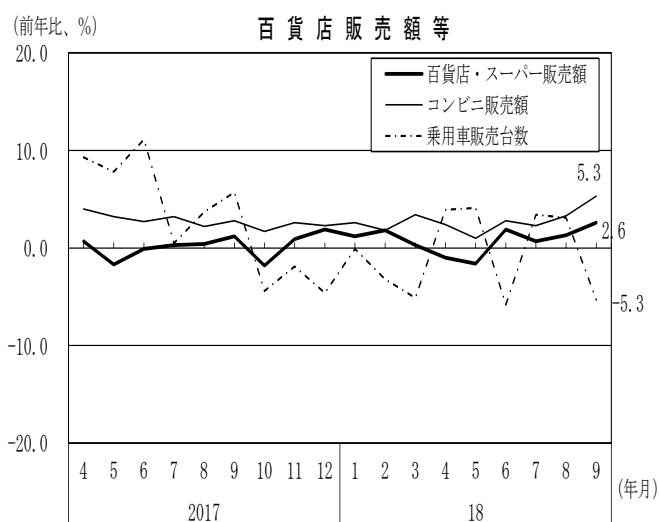
**基調判断**  
(2018年9月を中心として)



**今月の概要**

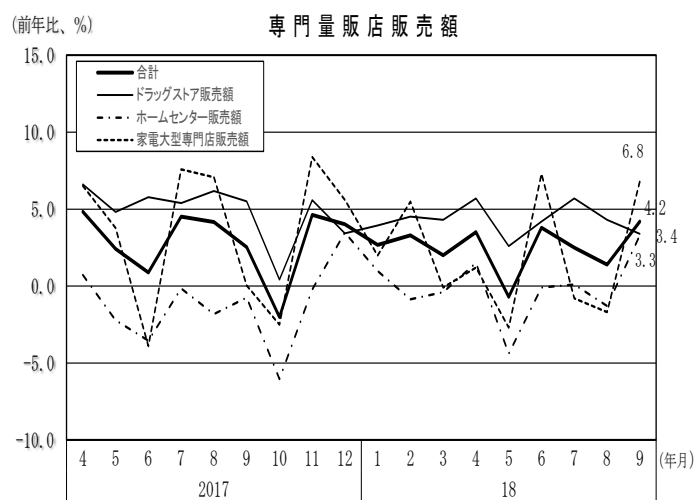
県内景気は緩やかに回復している。

### 1 個人消費 持ち直し



(資料)経済産業省、埼玉県自動車販売店協会など

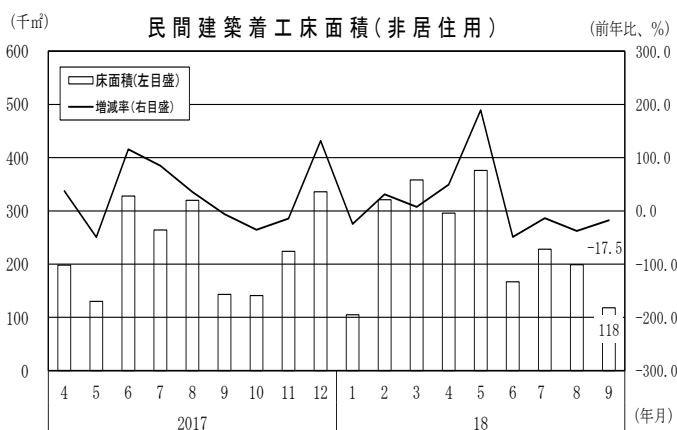
9月の百貨店・スーパー販売額(店舗調整前)は、804億円で前年比2.6%増と4か月連続で増加した。百貨店は同5.7%減と減少したが、スーパーは同4.6%増と4か月連続で増加した。コンビニ販売は同5.3%増と堅調に推移している。乗用車販売(軽含む)は、同5.3%減少した。内訳をみると、普通車が同1.2%増加したものの、小型車が同12.9%減と引き続き減少し、軽乗用車が同5.2%減と9か月ぶりに減少した。



(資料)経済産業省

9月の専門量販店販売額は、608億円で同4.2%増加した。内訳をみると、ドラッグストアは307億円で同3.4%増と堅調を持続し、家電大型専門店は142億円で同6.8%増、ホームセンターは159億円で同3.3%増と、ともに2か月ぶりに増加した。

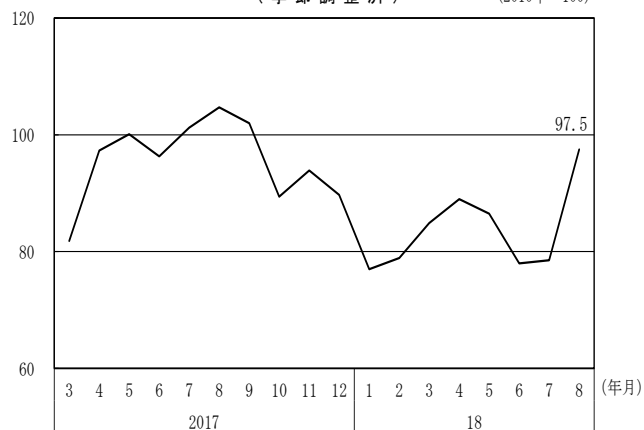
## 2 設備投資 横ばいの動き



(資料)国土交通省

9月の民間建築着工床面積(非居住用)は、118千㎡で前年比17.5%減と4か月連続で減少した。9月までの年度累計では前年同期比0.1%増と横ばいの動き。9月単月を用途別にみると、事務所、店舗、工場及び作業場、倉庫などがいずれも減少した。

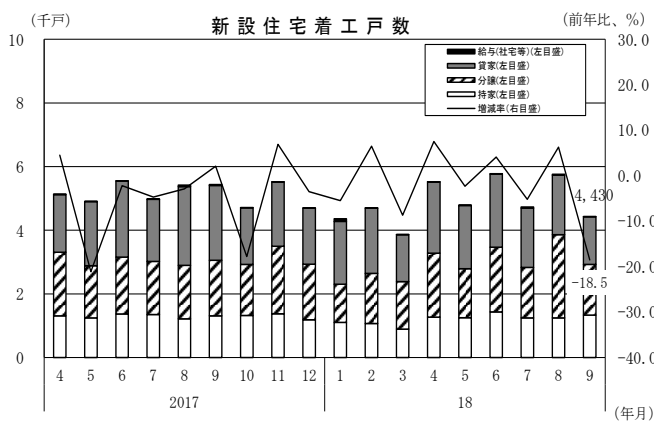
資本財出荷指数  
(季節調整済) (2010年=100)



(資料)埼玉県

9月の資本財出荷指数(季節調整済)は、97.5で前月比24.2%上昇した。

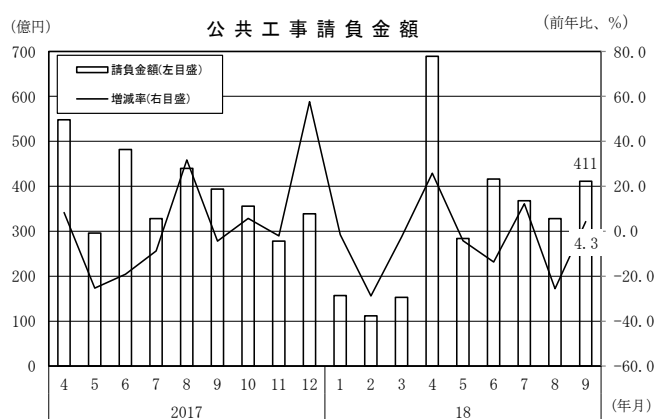
## 3 住宅建設 弱含み



(資料)国土交通省

9月の新設住宅着工戸数は、4,430戸で前年比18.5%減少した。利用関係別にみると、持家が1,333戸で同1.8%増加したものの、貸家が1,501戸で同36.2%減と大幅に減少し、分譲戸建てが1,297戸で同5.4%減少した。

## 4 公共工事 横ばいの動き

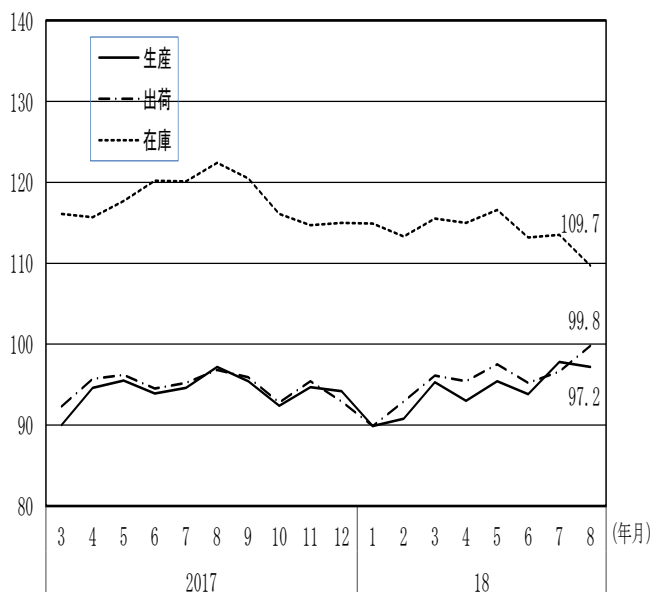


(資料)東日本建設業保証株式会社

9月の公共工事請負額は、411億円で前年比4.3%増加した。9月までの年度累計では前年同期比0.3%増と横ばいの動き。9月単月を発注者別でみると、県、市町村などが減少したものの、国、独立行政法人等が増加した。

## 5 生産活動 一進一退

鉱工業生産・出荷・在庫指数(季節調整済) (2010年=100)



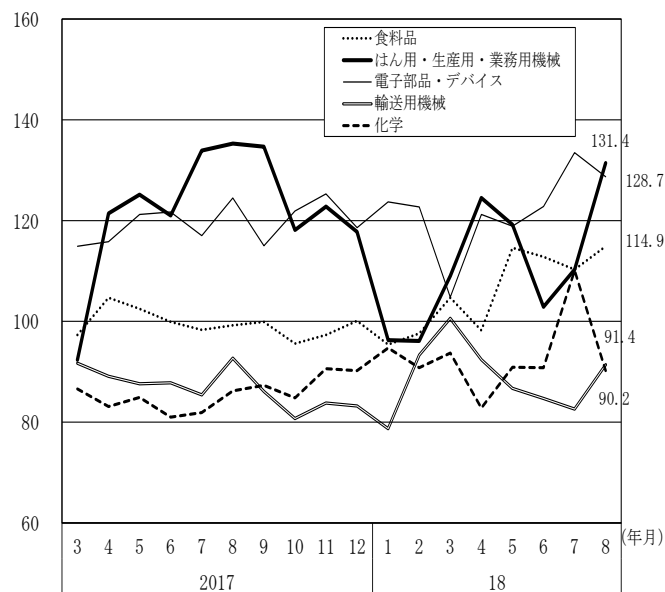
(資料)埼玉県

8月の生産指数(季節調整済)は、97.2で前月比0.6%低下した(2か月ぶりの低下)。生産用機械(半導体製造装置)、輸送用機械(乗用車)などが上昇したが、化学(医薬品、化粧品)、電子部品・デバイス(機能部品、サーミスタ)などが低下した。

出荷指数(同)は、99.8で同3.3%上昇した(2か月連続の上昇)。化学(医薬品、化粧品)、プラスチック製品(プラスチック製機械器具)などが低下したが、生産用機械(半導体製造装置)、輸送用機械(乗用車)などが上昇した。

在庫指数(同)は、109.7で同3.3%低下した(2か月ぶりの低下)。プラスチック製品(プラスチック製容器)、生産用機械(研削盤)などが上昇したが、輸送用機械(乗用車)、金属製品(食缶)などが低下した。

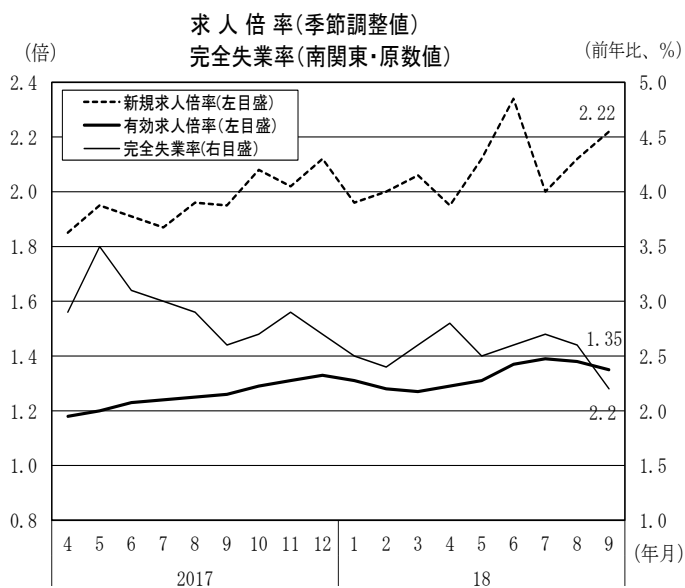
主要業種の生産指数(季節調整済) (2010年=100)



(資料)埼玉県

- ◆ 食料品の生産指数(季節調整済)は、114.9で前月比4.2%上昇し、3か月ぶりの上昇となった。
- ◆ はん用・生産用・業務用機械(同)は、131.4で同19.1%上昇し、2か月連続の上昇となった。
- ◆ 電子部品・デバイス(同)は128.7で同3.6%低下し、3か月ぶりの低下となった。
- ◆ 輸送用機械(同)は、91.4で同10.7%上昇し、5か月ぶりの上昇となった。
- ◆ 化学(同)は、90.2で同18.1%低下し、2か月ぶりの低下となった。

## 6 雇用情勢 着実に改善

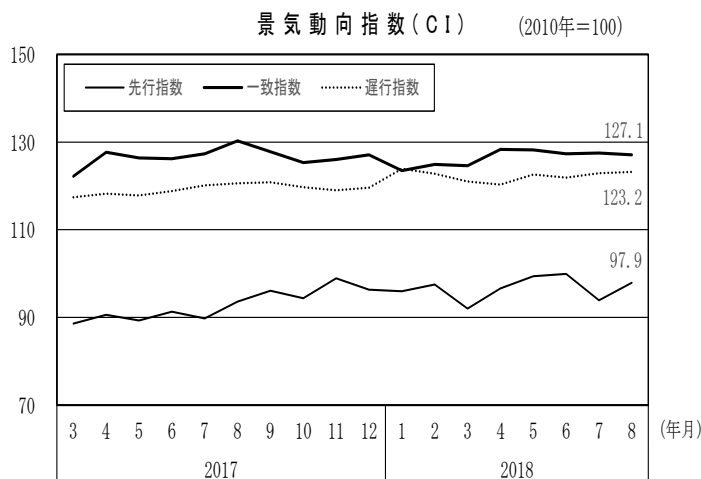


(資料)厚生労働省、総務省

9月の有効求人倍率(季節調整済)は1.35倍で前月比0.03ポイント低下したが、新規求人倍率(同)は2.22倍で同0.1ポイント上昇した。完全失業率(南関東、原数値)は、同0.4ポイント低下の2.2%と低水準で推移している。

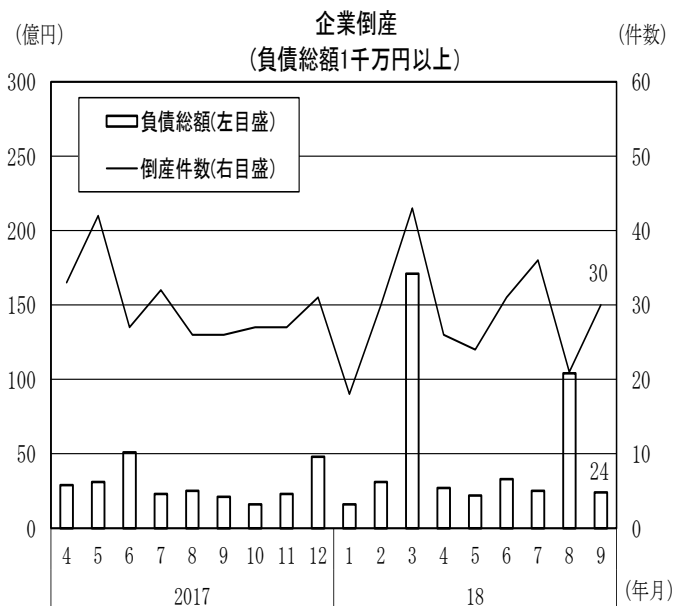
## 〈参考〉

### 景気動向指数(CI) 下げ止まりを示している



(資料)埼玉県

## 7 企業倒産 低水準



(資料)帝国データバンク

9月の企業倒産件数は、30件で前年比4件の増加、負債総額は24億円で同3億円の増加となった。

業種別にみると、サービス業が11件で最も多く、次いで卸売業と小売業がそれぞれ6件、建設業が5件となっている。主因別では、販売不振が27件で最も多くなっている。

8月のCI一致指数(景気の現状を示す)は、127.1で前月比0.4ポイント低下し、2か月ぶりの低下となった。

CI先行指数(景気の数か月先を示す)は、97.9で前月比4.0ポイント上昇し、2か月ぶりの上昇となった。

CI遅行指数(景気に遅れて反応する)は、123.2で前月比0.3ポイント上昇し、2か月連続の上昇となった。